

創刊号
2010.7

青梅のにじ

〈発行〉

日本基督教団 隠退教職ホーム
にじのいえ信愛荘
運営委員会 須藤 繁

〒198-0052 東京都青梅市長淵2-687
電話：0428-22-2283 FAX：0428-22-2317
Eメール：nijinoiesinaiso@wish.ocn.ne.jp

振替口座番号 00120-3-358467

加入者名：にじのいえ信愛荘

にじのいえ信愛荘の

合併とこれから

荘長 久山 庫平



今年4月に、

にじのいえと信
愛荘が合併しま

した。全く新しい形態で運営されることになりました。そして、にじのいえに住んでおられる方は、6月末日に転居されてこられます。私は少しも心配していません。千葉におられても、青梅で迎えるにあたっても、お互いに教職として、またその夫人として、生活されておられたのだから、少しもそこに戸惑いがあると思っていないし、むしろ新しい共同生活が楽しくなされる喜びが起これと信じています。

意外に、青梅の町について知られていないのですが、明治時代から、八高線があり、群馬地方の養蚕の絹が、八王子、青梅に運ばれ、織物がなされて、横浜線で横浜に運ばれ、外国に盛んに輸出された、シルクロードです。また、戦前の中学の府立一中は日比谷高校で、府立二中は立川高校であったのです。青

梅の水道は古くから完備されており、文化的な生活がありました。現在、病院、老人ホームも、東京では第2位でネットワークの発達した地域と言われます。

吉川英治が生涯、青梅の住人であったのも、捨てがたいものがあつたからでしょう。信愛荘では、今まで、梅がきれいな、桜が咲いた、つつじが美しい、紅葉が見たい、その都度、美しい風光明媚な場所に全員で出かけ、ダンゴもいただいて、交わりと健康維持をかねて、理由をつけては、外に出かけています。千葉からこられたら、とまどいもあるでしょうが、仲良く色んな場所に共に出かけられることを、楽しみにしています。

現在、多くの方々の協力と、お祈りいただいて、B棟が作業する方の熱心とけがもなく、まもなく完成いたします。すばらしい食堂が出来上がります。厨房も広くなり、毎日おいしい食事が提供されることでしょう。信愛荘に行った時、一番驚いたことは、皆さんの食事の早さと、食べる量でした。空気が澄んでいるからだけではないと思います。お互いの生活への大切さと、

お互いを尊敬して、安心があるからだと思わざるを得ないので。どこも同じですが、高齢化への道は避けることは出来ません。そのために、病院とも連絡をとり、月1回内科医の健康診断と、歯科検診も時々おいでいただいで、健康面に気をつかっています。また、全国の教会から、さまざまなご援助をいただいております。本当に感謝でございます。今まで他の人のためにはないかと思つていても、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



新築されたB棟の外観

新しいホーム

にじのいえ信愛荘運営委員長

角谷多美子



「にじのいえ」と「信愛荘」とが合併について検討を始めてから

4年半、2008年10月20日、教団の第35総会期第6回常議員会で合併が承認され、日本基督教団隠退教職ホーム「にじのいえ信愛荘」となり、教団のセンターとして、教団内で唯一の隠退教職ホームとなることが決まってから1年経った昨年11月、新しい運営委員会が組織され、合併の準備を始めました。そして、この4月からは正式に「にじのいえ信愛荘」としての活動を始めています。

5月末には皆様方に募金をお願いしております新築中のB棟が完成し、6月末に「にじのいえ」の方々が青梅に引っ越されます。その後、落ち着かれるのを待って内輪の記念会を持つことが決まっています。けれども、まだA棟の改築工事が残っています。

ですので、B棟の献堂式はすべてが整う9月を予定しております。

にじのいえ信愛荘は東京教区、西東京教区、全国教会婦人会連合の3団体が運営母体となり、協力して運営していきます。そのため、新しい運営委員には東京教区から4名、西東京教区から2名、全国教会婦人会連合から4名、そして教団から1名が選出されました。毎月1回委員会を持ち、新しいホームの運営について協議し、それぞれの個性を生かした分野の役割を担っています。

また、運営委員会には、青梅のホームで運営の実務にあたっておられる荘長、施設長、事務長も陪席し、荘の様子を報告されます。こうして、運営委員全員が荘の状態を出来る限り理解するよう努めています。

にじのいえ信愛荘では、5月現在男性4名、女性12名、計16名の方々が、静かな生活を送っております。職員は管理人夫妻と10名のパート職員、ボランティア等。6月末には「にじのいえ」から5名の方々と1名の職員が移ってきます。運営委員会では入荘者がより良い、落ち着い

たご生活をなされるような、また、職員が安心して働けるような施設でありたいと、いろいろな面で検討を続けております。

にじのいえ信愛荘は隠退なさっても住居を持つことのできない隠退教職夫妻と召天された教職のお連れ合いのためのホームです。先に述べました3団体が運営の責任を負っておりますが、資金的な面では全国の教会、教会員の皆様のご支援をいただかなければ運営してゆくことはできません。あらゆる面で豊かになった現在でも、教会を長年牧され、隠退の時を迎えられて「にじのいえ信愛荘」を必要とされている教職がいらっしゃることをお覚えいただき、「にじのいえ」「信愛荘」であった時と同様に、あるいはそれ以上に、この生まれたばかりの「にじのいえ信愛荘」をご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、にじのいえ信愛荘では運営上、教会員の皆様にお手伝いをお願いしなければなりません。そのため登録していただく方法を考えています。その節はよろしくお願い申し上げます。



廊下



厨房



居室

にじのいえ信愛荘合併覚書



東京山手教会牧師
東京教区総会議長

長崎 哲夫

2006年2月16日、わたしは、朝岡瑞子姉（東京教区常置委員、「にじのいえ」と「信愛荘」の両運営委員）を通じて、全国教会婦人会連合「にじのいえ」委員会の皆さんとの会談をさせて戴きました。

目的は、既に東京教区の関係者には申し上げていたことでしたが、「にじのいえ」と「信愛荘」の合併の夢を是非一度皆さんに聞いて戴き、検討されたい旨をお伝えすることでした。

内容は、①両施設とも教団隠退教職ホームである。②両施設は必要経費の大部分は諸教会及び信徒個人の献金によって成る。③今後も全国から入所希望者がある。④両施設が別々に運営されるのは、色々な意味で無駄がないか。⑤献金者の高齢化等将来を見通して、献金の一本化が必要。⑥教団全体の目からも男女共同施設の意味は大きい。⑦

都心から離れている両施設は果たして良いのか。⑧教師の老後を世間と隔絶せず、気軽な交わりを保つことも必要等でした。

こう話すうちに、両施設とも将来は財政の見通しに困難がありました。更に、「にじのいえ」には海溝型地震と活断層の恐れとその対策の問題があり、「信愛荘」は、建物の構造及び老朽化が目立ち、火災等対策は早急に要ることが判明しました。

これらを踏まえて双方が検討した結果、2007年7月19日「にじのいえ」運営委員会（角谷多美子委員長）から、「信愛荘」運営委員会（木下宣世委員長）宛合併を検討したいと伝えられ、同年8月7日折しも教団機構検討委員会の各種センター整理問題に当たっていたわたしには、その改革の対象から外すことが要望されました。

また同日、両運営委員によって成る、「合併に関する検討委員会」を発足させることを双方運営委員会が確認しました。

これにより、同年11月19日から年度末までを期限として5回に亘る検討委員会が開催され、その目的・名称・財政・組織・

環境等多角的な検討がなされ、「合併することが望ましい」との認識に至りました。

特に、此処で意を強くされたことは、この為に双方施設は、7500万円の拠出可能であることの見通しが立つことでした。

双方施設に西南支区の交わりにあった敷島教会解散に伴う献金、施設で生涯を終えた教職の遺産、募金委員会のチャリティー・コンサートの果実等が遺されていたのです。

この結果、2008年5月27日第67回東京教区定期総会と同年6月17日全国婦人会連合中央委員会が、双方施設の合併を承認しました。

これを経て、同年7月10日、双方五委員を選任し、「にじのいえ信愛荘合併特設委員会」（委員長 長崎哲夫、書記長 角谷多美子）が組織され、以下の件を決定しました。

名称・「日本基督教団隠退教職ホームにじのいえ信愛荘」。場所・信愛荘敷地。合併の実・同荘B棟を建替える。予算・総額2億円、内1億5千万円（前述）及び全国教会募金5千万円。設計・一粒杜ヴォーリス建築事務

所（株）、施工・扶桑建設（株）を指名する。

この間、2008年10月20日、第35回総会期第6回常議員会がこれを承認したのを初め、2009年10月5日現地にて起工式を行うと共に、第20回特設委員会を終了し、同年11月30日にじのいえ信愛荘新運営委員会（委員長 角谷多美子）が発足しました。

以来、同委員会は精力的に運営・財政・諸規則・募金活動等必要案件に当たり、改築工事も順調に進捗され、本年5月31日完了、6月29日には「にじのいえ」からの移転が1日で終了されると伺いました。

此処に、2010年運営予算総額約4736万が提示されています。これを2008年度二施設決算合計約6900万円と比較しますと、明らかにされるもの幾つか見えて来ます。

顧みて、この合併事業は隠退教職ホームに関わる多くの有志の信仰と祈りの結実以外の何ものでもありません。

これは、正に日本伝道一五〇年の記念すべき出来事、証しの業です。

入居者名簿

★教職 最終任地・教区

(にじのいえ)

梅沢 清子 87歳

姉ヶ崎伝道所・東京

★飛田 悦子 88歳

新見教会・東中国

平松 政恵 97歳

原市新生伝道所・関東

★吉田 トシ 88歳

浪江伝道所・東北

★和田 信子 79歳

日立南伝道所・関東

平均在荘年数144年

(信愛荘)

★池田 貞子 80歳

いずみ愛泉教会・東北

★石川深香子 78歳

天門教会・西東京

★石坂 幸雄 81歳

水戸自由ヶ丘教会・関東

石坂 大 83歳

水戸自由ヶ丘教会・関東

大里 和子 81歳

香里教会・大阪

★柏井 宣夫 70歳

鹿島栄光教会・東北

柏井 和子 71歳

鹿島栄光教会・東北

金井 和子 82歳

新丸子教会・神奈川

★黒田 愛子 86歳

小見川教会・東京

高崎 ワカ 79歳

栗平教会・神奈川

★土屋 恵子 79歳

宮島口伝道所・西中国

藤田小枝子 86歳

菖蒲教会・関東

★嶺 尚 75歳

関東教区巡回教師

嶺 澄子 73歳

岩槻教会・関東

★宮本 信一 83歳

瀬高教会・九州

★宮本 恵 71歳

瀬高教会・九州

平均在荘年数92年

お支えを感謝いたします

にじのいえ信愛荘運営委員会

財務担当 朝岡 瑞子

「にじのいえ」と「信愛荘」が一つとなつて協力、運営できないかという話があり、東京・西東京教区、全国教会婦人会連合より選出された委員によつて合併が可能かどうかの検討が重ねられました。そして同委員会の結論を受け、合併に関して必要な案件を検討する合併特設委員会が組織され、「にじのいえ」「信愛荘」双方が応分の費用を出し合い信愛荘内の建物を建てかえ、合併の実とすることが決議されました。居室13部屋に食堂、厨房を含む鉄筋コンクリート2階建て、バリアフリーの快適な建物が出来上がり、5月31日引き渡しをすませました。まだ旧館の改修部分は工事中ですが、最後まで事故なく終える事が出来るよう祈っています。

工事費・諸費用2億円の予算で計画した改築・改修工事ですが、手持ち資金を上回る5千万円については皆さまからの献金

で進めることとなりました。昨年7月、それぞれの広報と一緒に趣意書を発送し、2011年5月まで2年間の期限で募金をお願いしてまいりました。

教団唯一の隠退教師とその配偶者の方々のホーム「にじのいえ信愛荘」として、全国諸教会の皆様深いご理解、お祈りとともに温かいご支援をいただき、思いに勝る早さで目標額達成に近づいています。

献金報告の詳細は後日改めてお知らせいたしますが、6月4日現在4565万円余が捧げられています。現況を感謝してご報告いたします。

〈内訳として〉

(2010.6.4現在)

信愛荘の口座	18,130,639円
にじのいえの口座	12,031,534円
東京教区資金より	15,000,000円
みずほ銀行振込	488,282円
	45,650,455円

施設長 横山 利江

(花小金井)



篤い祈りに
よって生み出さ
れ、今日迄の道
りを歩み続け

てきた「にじのいえ(37年)」と「信
愛荘(50年)」の流れが一つになり
ました。この記念すべき機会に
スタッフとして加えられました
ことをあらためまして身の引き
締まる思いであります。二つの
流れが混じり合い、融け合って
新しい讚美の歌が、高らかに響
く毎日でありますように祈って
止みません。

今後共、皆様のお祈りとご支
援をよろしくお願い申し上げます。

事務長 朝岡 健一

(船橋)



事務を担当す
る朝岡です。以
前3年間にじの
いえの管理者と

して館山で過ごしましたが、そ
の時の経験が役にたつと思いま
す。云うまでもなく隠退された
先生方の生活が充実したもので
あるよう環境を整える事が私た

ちスタッフの役目です。現在の
荘の状況だけでなく将来どのよ
うになるのか長期的な視野で経
営に当る所存です。

管理人 高橋 茂



管理・買出し・車
に汗を流す毎日を過
ごしている調理師の
高橋です。ただ今縁
の下の力持ちで活躍
中とご理解下さい。

現在62歳になり、
定年までのカウン
タウンに突入してい
ますが、新たなメン
バーと共に頑張っ
て行きます。どうぞ
よろしく。

厨房主任

高橋 恵子

(新潟)



「いつも共に
ありたい」と願
い続けて来た私
の思いを「こみ

にじのいえ信愛荘 スタッフのご紹介

み」にはさんだ神様が、4年前の
母の日、長女を通してプレゼン
トして下さったお仕事でした。
この青梅の地で、先生方と共に

ゆっくり風に流れる雲
を眺めながら「いいお
仕事が出来たら幸せで
す。」と思っている58歳
高橋恵子。末長くよろ
しく、お願いします。

介護主任

宮北 京子

(溝ノ口)



「にじのいえ」の働き
人として、おもにご入
居の方々の生活の援助
けをさせて頂き、6年
が過ぎました。信仰の
浅い私にとって献身の
生涯を過ごして来られ
た皆様とご一緒に、礼
拝をもって始める毎日は、とて
も感謝でした。

その方々と共に、7月からい
よいよ青梅での生活が始まりま
す。

今後は、「にじのいえ信愛荘」に
入荘の皆様が、健康で安心して
毎日をお過ごしになれるよう、微
力ながらお手伝いさせて頂きた
いと願っています。どうぞご加
俣下さい。

パート職員 矢田部昌枝

(狛江)



坂道を登りき
ると白い建物が一
段と大きくな
り「にじのいえ

信愛荘」となりました。新年度の
歩みへと準備が整い神様の計り
知れないご計画が、そして多く
の方のお祈りがとどき、この時
を、この幸いを心から感謝申し
上げます。新職員スタッフとし
て遣わされました施設長、事務
長さんにご指導戴き、私のよう
な小さな器でもゆるされ一年余
りの荘の生活の中での経験をい
かし、新たにはじまりました現
実を見つめ、年を重ねて行くこ
との励ましと、なによりも御言
葉に生かされ、自分自身の信仰
生活の場として日々の歩みの中
で力一杯お支える事が出来ま
すようにと願っています。

新運営委員会メンバー

行われるように。

委員長 角谷多美子（安藤記念）

二つのものを一つにする。それは簡単なことではありません。主の導きを信じて、頑張っています。素晴らしい方々と一緒に…。

荘長 久山 庫平（河辺）

長い間牧会された教職の方々が安心して生活されるようお願いしつつお手伝いをしています。お力添えをお願いいたします。

施設長 横山 利江（花小金井）

牧師であった夫は3年前天国の住人となり、長男夫婦、次男夫婦、孫4人が大切な家族です。

事務長 朝岡 健一（船橋）

私の仕事は金庫番が一番の任務と捉えています。皆様からの献金を大切に、有効に使わせて頂くべく努めてまいります。

委員

朝岡瑞子（船橋）財務

「にじのいえ」「信愛荘」運営委員として関わってきた双方の経験の一つにし、より良い運営が

齊藤 孝（碑文谷）財務

受洗40年の若輩者ですが新しいホームの皆様が安心できるような貢献できればと願っています。財務を担当します。

小平正宣（代々木中部）書記、建築

代々木中部教会の小平です。書記と建設委員の担当を致しております。不慣れではありますが、入荘者のために頑張ります。

篠宮秀雄（三崎町）広報

自分の教会以外でご奉仕をさせていただくことは、はじめてのこと。何を成すべきか、現状では良く分かりません。しかし、このような者をお使いくださるのには、ただただ神様の恵みとして感謝して、お手伝いをさせていただきます。と思っております。

鈴木功男（目白）広報

日本伝道一五〇年は、合併を実現し、教師の生涯に亘ってお支える信徒運動としての更なる広がりを与えてくれました。

飯澤弘子（溝ノ口）連絡調整

北海道で17年余り、東京で24年を牧師の妻として教会に仕えました。神が備え給うたこのホーム。心より奉仕したいと願っています。

砂田巳智子（西千葉）募金

募金担当として係わらせていただきます。祈りを持って働かせていただきたいと思います。宜しくお願いいたします。

成松三千子（柿ノ木坂）広報

新しく手がけることの大変さを感じていますが、感謝して任にあたります。ご入居の皆様への心と平安が守られますように。

小中乃美子（永福町）連絡調整

規則作成のため関係法律書を読んだり、現地連絡担当として職員の話の伺う程、運営委員の責任の重さを実感しています。

西村佳子（狛江）募金・建築

信愛荘運営委員として十数年間携わるうちに隠退後の先生ご夫妻の生き方から多くのことを教わりました。今後に活かされば幸いです。



にじのいえは

どうなったの？

全国教会婦人会連合中央委員長

成松 三千子

近頃、「それはそうと『にじのいえ』はどうなったの？」と質問されることが多くなりました。そこで、ご心配くださる皆さんに、「にじのいえ」の近況をお知らせしましょう。

はつきりしていることは、千

新施設建築秘話

前信愛荘主事 池田 浩二

待ちに待っていたB棟の改築工事も、間もなく完成の時期が近づいてきました。5月10日からは、A棟、B棟、C棟をつなぐ中央通路が通行出来るようになりしました。通路を通る都度目に入るB棟の状況は、1日1日工事の完成が目の前にある事を実感させられています。

新施設の建築秘話を書くように求められましたが、特別に秘話と言えることは、あまりあり

葉館山の土地・建物を手放すという事です。すべての建物を壊して更地にして売却してしまうのではなく、出来ることなら、耐震構造を持つまだ新しいホーム棟を利用していただく売却先を望んでいます。近くの児童養護施設「ひかりの子学園」が購入の意向と聞いて、ここであれば、今まで28年間子どもたちが通ってきた土曜こども聖書会を通して、信頼関係を築いてきた私たちにとっては、大変喜ばしい話

ません。強いて言えば、一般の建築では、あまりないようですが、今回の建築は、一方で生活を続けながら、一方で工事を進めなければならぬ状況の中での建築であった事に起因する様々な出来事が続いたことでした。私達現地のスタッフは、その事に全神経を集中して来ましています。そして大過なく、工事完成を迎えられそうで、今ほっとしています。今回の直接の工事ではありませんが、関連する事として、感慨深いことがひとつふたつあります。

まだ「にじのいえ」との合併の

であると期待していました。ところがごく最近になって、学園理事会から諸事情により購入不可能との残念な報告を受け取りました。これから、新たな売却先を捜さなければなりません。

さて、私たちは去る5月21日（金）、37年の間様々なたちでお世話になりました関係者にお集まりいただき、にじのいえ閉館式を持ちました。澄み渡る青空のもと驚の鳴く声に親しみつつ、礼拝堂にて厳かに感謝の礼

事が話題になるはるか以前、2000年、信愛荘創立40周年記念事業として、多目的ホールを建築した事がひとつ、今回の改築事業にどれだけ役に立ったかは計り知れません。

そしてもうひとつ、ホールの設計に当たった、ヴォーリズ社の当初の設計にはなかった、中央通路のくの字形に折れた形状を、将来のことを考え、ヴォーリズ社と掛け合い変更させた当初の委員の英断を、一直線になった中央通路をながめ、感慨一入です。

拝がさざげられました。「にじのいえ」は、新しく「にじのいえ信愛荘」として歩み出すこと、東京教区、西東京教区、婦人会連合が協力して、この《終わりなき奉仕》に携わっていくことを心に刻み、いよいよ和やかなパーティのひとつときに移りました。

100名もの出席者の中には懐かしい方々も多くおられ、ご入居の先生方も私たちも再会の喜びに時間が経つのも忘れるほどでした。

編集スタッフ

編集長

篠宮秀雄（三崎町教会）

編集委員

岸 俊彦（経堂北教会牧師）

石井泰子（小松川教会）

黒沢咲子（下谷教会）

鈴木功男（目白教会）

成松三千子（柿ノ木坂教会）

莊日記



莊母 高橋 恵子

10月5日(月) にじのいえ信愛荘
B棟起工式。出席者、約50名
10月7日(水) めぐみ幼稚園職員
礼拝。宮本信一・恵先生ご夫妻
10月9日(金) お茶会。ともしび
会ご奉仕
10月14日(水) もみじ狩り。食事会
10月26日(月) 井上医院による健
康診断
11月1日(日) 久山庫平荘長説教。
影山讓先生・邦子ご夫妻、鷺
見昌太郎先生・セツ子ご夫妻、
礼拝ご出席
11月4日(水) 再度もみじ狩り
11月10日(火) 国分寺教会問安。
手作りランチバイキング
11月11日(水) めぐみ幼稚園礼拝
ご奉仕 土屋恵子先生
11月3日(金) お茶会。ともしび
会ご奉仕
11月16日(月) 宮本信一先生、青
梅総合病院へご入院
同日、井上医院による健康診
断と共に季節性インフルエン
ザ予防接種
11月19日(木) 田川くに夫人、高
木病院へご入院

11月22日(日) 霊南坂教会・岩規
教会問安
11月28日(土) チャリティイーコン
サート
同日、田川くに夫人多摩リハ
ビリテーション病院へご転院
11月30日(月) 誕生会。土屋恵子
先生、高崎ワカ夫人
12月5日(土) 北島蘭科院長健診
ご奉仕
12月7日(月) 東京聖書学校問安
12月14日(月) イルミネーション
見物
12月21日(月) 運営委員会主催ク
リスマス礼拝、聖餐式、祝会
ご入院中の先生方5名出席
同日、青梅幼稚園、園児、3
名教員2名来荘
12月22日(火) めぐみ幼稚園のク
リスマス会に参加
12月23日(水) めぐみ幼稚園より
園長と職員来荘
同日、日本福音教会連合青梅
教会によるキャロリング。学
生30名、教員3名問安
同日、教団青梅教会による
キャロリング
2010年1月1日(金) 8時30
分より礼拝、雑煮とおせちで
朝食
1月8日(金) お茶会。ともしび

会ご奉仕
1月19日(火) 森啓一氏によるオ
ルガンコンサート。西南支区
音楽部7名来荘
1月20日(水) めぐみ幼稚園職員
礼拝ご奉仕。藤田小枝子夫人、
大里和子夫人
1月25日(月) 誕生会 影山邦子
夫人
同日、井上医院による健康診
断。新型インフルエンザ予防
接種
2月12日(金) お茶会。ともしび
会ご奉仕
2月15日(月) 田川くに夫人召天
多摩リハビリテーション病院
にて納棺式。福生教会小原牧
師のもと祈りの時をもつ
2月22日(月) 食事会
3月2日(火) 田川くに夫人を偲
ぶ会をもつ
3月12日(金) お茶会。ともしび
会ご奉仕
3月18日(木) 梅郷へ梅見物
3月28日(日) 石坂幸雄先生、大
夫人入荘
3月29日(月) 誕生会 鷺見セツ
子夫人、嶺尚先生、澄子夫人
同日、井上医院による健康診断
3月30日(火) 柏井宣夫先生、雅
子夫人入荘

あとがき

多くの方々への祈りと奉仕に
支えられ、また、この建築をつ
くるために設計や施工に従事さ
れた方々のご努力によって、B
棟新築工事が無事完了し、「にじ
のいえ信愛荘」が新たにスター
トしました。

住み慣れた千葉から青梅へ
の移動は大変なことだったと思
いますが、新しい地での生活を
楽しく過ごされますようにとお
祈りします。

合併事業により「にじのいえ」
と「信愛荘」は「にじのいえ信愛
荘」となりました。この新施設
の広報誌名をどうするかという
ことがわたしたち編集部最初の
課題となりました。いくつか
の候補があがりましたが、一番
に出た言葉「青梅のにじ」が採用
されました。創世記のノアに神
様が人間を赦す証拠として雲の
中にあらわされた虹と同じ虹が
今もわたしたちの見上げる空に
あることを思いつつ、この新施
設に神様の恵みと慰めがありま
すようにとの願いと祈りをもつ
て、この新しい広報誌に名づけ
ました。

(篠宮 秀雄)